

あつま

生涯学習だより

主な記事

- ・「厚真町の夢のある教育」をめざして
- ・厚真の遺跡発掘成果
- ・1月定例教育委員会の報告
- ・第2回厚真町中学1年生英語暗唱大会
- ・第36回スケート記録会成績
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

「厚真町の夢のある教育」をめざして

学校間交流にスカイプを活用

ICT活用教育の一貫として教育委員会が導入を進めているタブレットを活用して、厚真中央小学校と上厚真小学校の6年生が、2月8日にスカイプによる学校間の交流に取り組みました。

小学校では、九州などの遠隔地の小学校で英語教育に先進的に取り組んでいる学校とのスカイプによる交流を検討しています。その手始めとして、厚真中央小学校と上厚真小学校の6年生が、2月8日にスカイプを活用した学校間の交流を行いました。

交流では、6年生で取り組む厚真プロジェクト（6年間で学んだ言葉や文を使って、外国の方に自己紹介する内容で、小学校のまとめに位置づけている本町のコミュニケーション科の授業の名称です）の一貫として相互に自己紹介しあったり、分らないことについては質問したり、“Sorry”と聞き返したりしていました。子どもたちは、緊張しながらも初めてのスカイプによる交流を楽しんでいました。



教師力アップ研修 冬季研修会

今、子どもたちが自ら進んで課題を持って、考え、解決するという課題解決型の授業が求められています。

授業での課題設定は厚真町の多くの学級でも取り組まれています。このたび、子どもたちが一層意欲的に取り組むためには、課題の設定にどんな改善や工夫が必要か、より良い授業づくりをテーマに、北海道教育大学 准教授 早勢裕明先生を招いて「あつま教師力アップ研修会」を開催しました。

講演では書写の授業の例などを取り上げ、その時間で学ぶための課題をとらえさせるには、どのような問題の投げかけが効果的か、さらに、子どもの課題意識を高めるための工夫などを学びました。

ワークショップでは、与えられた教材をもとに実際の授業場面を想定した教材の分析や子どもへの発問づくり等に取り組みました。



厚真町ICT教育推進研修会

国の教育の情報化ビジョンの中では、21世紀に生きる子どもたちに求められている力を育むためにはICTの特長を生かし、子どもたちの興味・関心を高めて学習を深めることが期待されています。ICTの活用は授業の質の向上にもつながり、その特長を生かすことにより授業改善を大きく進めることが可能であると述べられています。

教育委員会ではその活用環境の整備を進める一貫としてICT活用教室クレーバーキッズの熊谷代表を招いて「厚真町ICT教育推進研修会」を実施しました。

参加した先生方はタブレットコンピューターを中心としたICTに関する専門的な知識・技能について学びました。熊谷代表は授業でのよりよい活用のためには、「まず使ってみること、自身が使う中からヒントを得ることが大切である」と学校にあるICT機器の一層の活用を呼びかけていました。



今年の発掘成果 縄文人のエゾシカ猟と豊かなアイヌ文化

14年目となる厚真町内の大規模な遺跡発掘調査は、北海道埋蔵文化財センターと合わせて町内外からの作業員約160人の体制で11カ所を行いました。町教委調査の2カ所の遺跡を紹介いたします。

■シヨロマ1遺跡

遺跡は厚真川と夕張へ抜けるシヨロマ川との合流点に面する高台、旧上幌内小学校跡地にあります。平成25年から継続調査しており、今年は約4,000年以上前の縄文人が掘ったTピットと呼ばれるシカ猟の落とし穴79基などが見つかりました。Tピットは平均の長さが約230cm、幅90cm、深さ100cmで、約260mにわたって列状に見つかりました。厚真町でもよく見かけるシカ道に掘られたと考えられ、縄文人たちは山の恵みとしてエゾシカをお肉や毛皮、角や骨などを大切な資源として利用していたことが伺えます。ただし、狩猟場所であったことから、縄文土器や黒曜石の石器などの生活道具はこれまでの発掘調査の中でも少ないという結果にもなりました。

■富里1遺跡

富里地区楢山ふもとの高台に建設中の浄水場工事に係る発掘調査で、延長約60m、幅3mの水道管敷設部分の発掘調査を約1カ月間行いました。小規模な発掘調査でしたが、約4,500年前の縄文時代から約350年前の近世アイヌ文化期に至るまでの土器や石器、鉄鍋などが出土しました。特にアイヌ文化期の成果として、平地式住居跡が2軒、モノ送り場跡1カ所、焚き火跡4カ所などが見つかり、うち1軒は堆積する火山灰から1669年のシャクシャインの戦いの時期とわかりました。しかもこの住居跡は北海道内の発掘調査で見つかった平地式住居跡でも最大規模のものです。出土品でも、綺麗なガラス玉や鉄のナイフ、メカジキの骨も出土しており、活発で豊かな厚真の先住民族の姿が見えてきました。



←列状に見つかったTピット

(人が立っている場所)

【シヨロマ1遺跡・縄文時代】

大陸産のガラス玉→

【富里1遺跡・約500年前】



第2回厚真町中学1年生英語暗唱大会

1月14日に厚真町英語教育推進委員会主催による町内の中学1年生を対象とした英語暗唱大会が総合ケアセンターゆくりを会場に実施されました。

中学2、3年生、小学生を対象とした英語暗唱大会は、8月に実施しています。8月の大会は、胆振管内、そして、全道の中学校英語暗唱大会へと続く大会ですが、この時期1年生には、暗唱にふさわしい題材がなく対象としていません。そこで、昨年から本町独自に1年生英語暗唱大会を実施しています。

この大会は、英語の暗唱を通して英語に対する興味・関心を高めるとともに、生徒の英語能力を高めることや、胆振管内、全道の大会へつながる8月の暗唱大会への動機づけとして実施しています。あわせて、日常の学習の成果の発表の場として保護者、地域の皆様に公開しています。

2回目の今年度は、暗唱の他に、スキット（寸劇）やピクチャーカードを活用しての発表等、日常の英語学習の成果を意欲的に発表していました。

審査の結果は次の通りです。

1位 前田朔治さん

2位 高田華凜さん

3位 當摩航輔さん

4位 佐藤亮太さん、矢倉健瑠さん、吉岡珀和さん※3人でスキットを実施



～1月定例教育委員会会議内容報告～

1月30日に開催された定例教育委員会の会議内容について報告します。

◆報告事項

ICT教育推進研修会/教師力アップ研修会/議会総務文教常任委員会所管事務調査についてなど（6件）

◆協議

厚真町教育振興基本計画/厚真町子ども読書活動推進計画について（2件）

◆その他

厚真町総合教育会議/平成27年度胆振管内教育委員会委員研修会について（2件）

◆問合せ教育委員会学校教育グループ

☎27-2494

第36回厚真町小中学校 スピードスケート記録会～成績～

1月30日、町民スケートリンクで『第36回厚真町小中学校スピードスケート記録会』が開催され、町内の小学生43人が参加。厳しい寒さの下、選手たちは日ごろの練習の成果を一杯発揮し、健脚を競い合いました。

成績（敬称略）

【小学男子】

- 《50ㇼ》 ▽1年①高橋凜久（中央）
- 《100ㇼ》 ▽1年①川村海陽（上厚真）②橋場凰太郎（中央）
▽2年①大宮幹丞（中央）②梶谷怜矢（中央）
- 《250ㇼ》 ▽1年①丸山陽凧（中央）
▽3年①藤樫悠人（上厚真）②安達陽（上厚真）③山本康太（中央）
- 《500ㇼ》 ▽1年①赤間永彪（中央）▽3年①山崎煌丞（上厚真）②丸山晴凧（中央）
▽4年①尾谷駿文（中央）②井島隼太（中央）③大浦瑛士（中央）▽5年①梶谷征矢（中央）
▽6年①藤樫健人（上厚真）②海沼志成（上厚真）③安達元太（上厚真）④大西賢斗（中央）
- 《1500ㇼ》 ▽4年①尾谷駿文（中央）▽6年①大西賢斗（中央）
- 《2000ㇼリレー》 ▽①中央小（赤間永彪・大西賢斗・丸山陽凧・尾谷駿文）
▽②上厚真小（山崎煌丞・安達元太・海沼志成・藤樫健人）

【中学男子】

- 《500ㇼ》 ▽1年①大捕匠翔 《1500ㇼ》 ▽1年①大捕匠翔

【小学女子】

- 《50ㇼ》 ▽1年①菊地彩楓（上厚真）②日野百花（上厚真）
- 《100ㇼ》 ▽1年①中島花奏（中央）②稲川帆乃花（上厚真）
▽2年①田居優菜（中央）②日野さくら（上厚真）
▽3年①川村羽海（上厚真）②深澤菜々美（中央）③高橋優空（中央）
- 《250ㇼ》 ▽1年①大捕瑚々奈（上厚真）▽2年①畑山美空（中央）
▽3年①中島愛梨（中央）②鳥海杏那（中央）
- 《500ㇼ》 ▽3年①寒河江瑞希（上厚真）▽4年①山崎桜（上厚真）②近藤琉莉夏（中央）
▽5年①西村優菜（中央）②畑山美海（中央）③池田葵（上厚真）
▽6年①赤間朱樹（中央）②寒河江瑞希（上厚真）
- 《1000ㇼ》 ▽6年①赤間朱樹（中央）
- 《2000ㇼリレー》 ▽①上厚真小（山崎桜・池田葵・寒河江瑞希・山崎雅妃）
▽②中央小（近藤琉莉夏・西村優菜・高橋優空・赤間朱樹）



皆さんお疲れ様でした！

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

TEL 27-3977 (土日)

図書室以外での
活動を紹介します

学校図書整備について

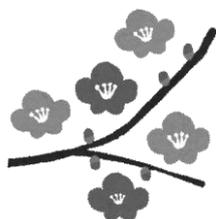
厚真町図書室では、町内の4つの小中校と協力して、学校図書整備事業を行っています。司書とボランティアが学校を訪問し、図書の受入や図書館内の整備などの作業を通じて、各学校の図書担当の先生が目指している図書館へ近づくことができるよう協力しています。

学校図書館では、町の図書室とは違い互いに本を読みあう子どもたちに出会いました。また、「読書の木」や「本で作ったクリスマスツリー」といった青少年センター図書室では行っていない装飾もありました。子どもたちにとって、学校図書館が居心地のいい楽しく本を読むことができる場所になっていることを実感すると同時に、先生方の子どもたちに読書を楽しんでもらおうという図書館展示の努力と工夫に敬服しました。



お話をうかがうと、どの先生も「利用数をいかに増やすか」という課題をお持ちのようです。厚真町の図書室でも毎年悩む課題ですが、全国の様々な図書館でも永遠のテーマとなっています。参考資料はたくさんありますが、必ずという答えはありません。私たちが1回に訪問できる時間は限られていますが、これからも可能な限りお手伝いさせていただきたいと思います。

ぜひお子さんに自分の通っている学校図書館へ行ってみることをおすすめください。春休みを利用して今までより少し難しい本に挑戦してみてはいかがでしょうか。先生たちが選んでくれた本がたくさん揃っています。



青少年センターからのお知らせ

～夜間プラネタリウム投映会～

「初春の星座探し」

3月は冬の星座と春の星座を一緒に見ることができる季節です。

今回は春の代表的な星座を紹介していきます。

空が晴れていれば天文台で実際に星を観察しますのでぜひご参加ください。

当日は晴れていれば半影月食を見ることができます。

と き 3月23日(水) 午後6時30分

ところ 青少年センター2階

※夜間プラネタリウム投映会、観望会は夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。





新着図書紹介

貸出中の本は
予約することができます。

一般書

『鬼はもとより』

青山 文平/著



おもと青売りの浪人が、命を懸けて藩財政の立て直しに挑みます。著者の青山氏は2015年後半の直木賞を受賞しましたが、この作品は大藪春彦賞を受賞しています。

- ・異類婚姻譚 本谷 有希子/著
- ・函館殺人坂 梓 林太郎/著
- ・坂の途中の家 角田 光代/著
- ・マルトク特別協力者 竹内 明/著

児童書

『黒魔女さんが通る！20』

奇跡の5年1組、解散！？」

石崎 洋司/作



黒魔女さんシリーズも20巻、クラス替えの、全魔界一斉テストとチョコちゃんは春休みも忙しい！5年生最後の試練を描いた1冊です。

- ・えんぎがいい 雨宮 尚子/著
- ・すごい古代生物 ようこそ、奇跡の「もしも動物園」へ 川崎 悟司/著
- ・真田幸村と十勇士 奥山 景布子/著

実用書

『シカ問題を考える』

高槻 成紀/著



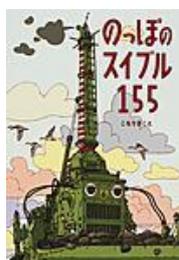
厚真町でも増え続ける鹿は食害だけではなく、土砂崩れも引き起こす原因にもなりうる存在になっています。鹿にどう向き合っていけばいいのかを考えます。

- ・絶景からはじまる旅 北海道心が高鳴る、感動風景に出会う。 昭文社/編
- ・おひとりさまの最期 上野 千鶴子/著
- ・かんたん手作り赤ちゃんスタイ 増山 優子/著
- ・日本の山を数えてみた 武内 正/著

絵本

『のっぽのスイブル155』

こもり まこと/作



長い間、倉庫で眠っていたスイブルくん。整備士の人たちになおしてもらいながら、自分の役目を思い出します。日本に5台しか残っていないブルドーザーのお話です。「スイブル」の名前のひみつは本を読むとわかります。

- ・だいじょうぶだよ、ソウさん ローレンス・ブルギニョン/作
- ・ぼくはいったいなんやねん 岡田よしたか/著
- ・リンドバーグ 空飛ぶネズミの大冒険 トーベン・クールマン/作

～図書室からのお知らせ～

■3月の休館日

3月20日【日】は春分の日、
21日【月】は振替休日の為お休みです。

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時（月・水・金・土・日）
午前9時から午後7時（火・木）

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時（月～日）
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

■3月の移動図書

4日【金】
上厚真小学校 午前10時35分～50分
11日【金】、17日【木】、23日【水】
上厚真小学校 午前10時10分～25分
16日【水】
ともいき荘 午後2時00分～2時30分

■絵本の読み聞かせ おはなしのびっ子

場所：青少年センター 絵本コーナー
24日【木】
午前10時30分～11時

☆放課後子ども教室☆

2月に入り、日もだいぶ長くなってきた今日この頃。年明け前には真っ暗だった帰り道も、夕暮れのやわらかな明かりのもと、子どもたちを見送れるようになりました。春の訪れが今から待ち遠しいです。

1月、2月の放課後教室では外での雪遊びや、おやつづくり、モノづくりのプログラムを行いました。おやつづくりは、冬のおやつの定番・おしるこをつくりました。上新粉と白玉粉を混ぜたものを丸めてゆで、あんこやきな粉をかけていただきます！自分たちでつくって、みんなで食べるおやつの味は格別です。口の周りにあんこをつけながら、お団子を頬張る姿はとても可愛らしかったです。たくさんつくったお団子はあっという間に完売。「もうないの？」と残念そうな声があちこちから聞こえてきました。



この時期はプログラムではもちろん、自由時間でも外に出て雪遊びを楽しんでいます。掘ればすぐに地面が見えるほどの降雪量。なおかつ、朝晩の気温の低さで氷の粒のようにになっている雪質。子どもたちが大好きな雪合戦をしたり、かまくらをつくったりというような雪遊びはなかなか難しい環境ではありますが、その中でも子どもたちは楽しみ方を見つけて遊んでいます。表面が固くしまった雪をブロック状に切り出して家の壁をつくったり、ケーキに見立てて遊んだり、大きな雪山をつくって木の棒を立て、砂山崩しの要領で遊んだりもしました。冷たい風が吹いて、子どもたちの鼻の頭やほっぺを赤くしても全然へっちゃらで駆けまわる姿を見ると、子どもは風の子という言葉を実感します。学校林や河川敷などで尻すべりをしたり、基地づくりをしたり、帰る時間だよと声をかけても「もうちょっとだけ！」と夢中になって遊んでいます。滑り降りては斜面を駆け上がるという遊びを何度も繰り返し、気付けば汗だくという子も。季節ごとの自然に触れながら外で遊ぶ時間は、子どもたちが創造的に遊べるとも素敵な時間だと改めて感じました。



2月のモノづくりプログラムでは手作りバスボム（入浴剤）をつくりました。掃除や料理の時に使う重曹とクエン酸、片栗粉をよく混ぜ、そこにアロマオイルと蜂蜜、ハーブティーを入れてこねていきます。握るとまとまるようになったら、サランラップに移し、好きな形にかたどってできあがりです。真ん丸ボール形にする子もいれば、ハート形や星形、飛行機の形をつくった子もいました。今回はグレープフルーツのアロマオイルを使い、さわやかな柑橘系の香りに子どもたちもうっとり。素敵なお風呂タイムを楽しんでもらえれば嬉しいです。

